

様子はすぐに観察できたが、貝殻をぶつけて追いつく。シーンはなかなか観察できず、それを目撃した組からは歓声が上がっていた。菊池先生からは、テーマを考え、仮説を立てて観察をし、それが思うようにいかないときでもよく観察して仮説を修正し、予想もしなかった結果をもとに新しい推測をすることが、実験の醍醐味だというお話をしていた。



長崎海岸での化石探し

目指せ！化石博士!!

石毛 克也

開催日：2026年7月20日
(月・祝) 9:00から
15:30

講師：銚子ジオパーク推進室
岩本直哉先生

参加者 銚子市近郊(銚子
旭 神栖 匝瑳)の9家族
21名(こども7歳~11歳)
参加場所 長崎海岸
スケジュール
AM: 海岸で化石探し

PM: ジオパーク芸術センタ
ー実験室にて観察・研究レポ
ートまとめ

銚子の多品種の海
洋生物化石が採取で
きる長崎海岸で化石
を拾いました。

この日の銚子地方の最高
気温32℃、炎天下の中での
化石探しだったので、水分補
給をしながら、ゆつくりペー
スで、体調を考慮し、予定よ
り時間短縮での化石探しで
す。

はじめは、なかなか化石が
見つからなかったけど、目が
慣れるに従い、漂着した貝な
どのなかから、草木の種子な

どが入った化石を見つけた
り、銚子に火山があった根拠
となる溶岩や石炭の化石を
見つけることができました。

1 全体写真撮影

2 化石の様子を写真撮影
拾った場所などを特定する
ための撮影記録

写真に撮るのは、化石は、
時間がたつと、欠けてしまっ
たり様子が変化してしまう
からです。

子ども達は、化石を見つけ
ると、先生に「これ、見てみ
て!」と自慢げに報告してい
ました。

これは、化石ですか?

岩本先生から「この長崎海
岸は、世界的にも多品種でた
くさん海洋生物の化石を見
つけることができる場所で
す」と、解説がありました
が・・・

「どうです、みなさん、なか
なか化石は見つからないで
しょう?」「だから、化石は
貴重なのです」

子どもたちは、見つけた化
石についてをひとつずつ丁寧
に解説を受けていました。
すると「すごい1億年前の
化石!」と目をキラキラ輝
かせて自慢していました

実験室では

・子供たちが採取した化
石をナンバリングして、標本
記録の作成、先生が各家族
のテーブルをまわり、化石の
種類を解説し、名前を記録、
化石観察の記録(レポート)
作成

・化石のレプリカ作り 銚
子で採取できる代表的なト
リゴニア(三角貝)、メガロ
ドン(アサメの歯)、クジラ
の耳骨などを、石膏で型抜き
してレプリカを作成。



採取した試料

子供たちは、流れ落ちる石
膏と格闘しながら、うまく出
来るかドキドキです。

〈気づき〉

この日は、クジラと思われ
る骨の化石を5個発見。

世界的に多品種の海洋生
物の化石がたくさん取れる
場所といっても21名で1
時間化石探ししても、ほんの
わずかしが化石が取れない
ので本当に貴重なのだと思
いました。

参加したお母さんが「今ま
で、ただボーっと海岸歩いて
いただけだったのに、今度か
ら注意して海岸を歩いて、化
石コレクションしたいと思
います」と、お子さんより化
石に目ざめた方がいらつし
やり、これも今回の自由研究
の成果だと思いました。

〈追記〉

テーマが「化石博士」とい
うことで、化石の標本ラベル
を作り、標本を作るまでがミ
ッションでしたので、少し、
小学校低学年には、難しかっ
たかな?と感じる部分もあ

りましたが、今回の自由研究
をきっかけに、将来、銚子の
化石博士が生まれると、うれ
しいです。

きのこ探検隊!

白土 紀子

7月25日(土)、9時半
より15時まで表題のツア
ーを実施。9家族18名の親
子が参加。講師は慶応義塾大
学の糟谷大河教授で、同大学
の学生1名も参加。主催の
推進協議会事務局の上田脩
郎専門員と市民の会補助員
として宮内さん・石毛さん・



ジオパーク芸術センター実験室